

第 1 回経済建設常任委員会 概要報告

年 月 日	令和 6 年 2 月 2 日	会場	第 1 委員会室	案件	委員会所管事項について
出席委員	山崎 真由美、清水 一夫、東 千春、倉澤 宏、水間 健詞				
委員外議員					
欠席委員					

〔報告事項〕

（経済部）

1) 農業経営基盤強化促進法に基づく地域計画の策定について

10 年後の農地利用の将来図となる目標地図を令和 7 年 3 月までに市町村が作成するよう法定化され、その策定スケジュール（予定）の説明を受けた。

Q 農地アンケートの集約状況について

A 農業委員会で実施している。改めて確認し、報告する。

Q 農政推進員会議の協議内容について

A 会議で地域計画策定の説明と地域におけるアンケート調査の内容について説明する。

Q 農業委員会職員 4 名と農業委員 20 数名（普段は農業に従事している。）では、作成に不安があるが、何か対策はあるのか。

A タブレットを活用し、省力化に努めている。また、7 月、8 月を目途に目標地図を作成したいと農業委員会から聞いている。

Q 地域計画策定検討委員会の構成について

A 市、農業委員会、農協、農業公社、改良区の代表である。

2) 令和 5 年度名寄市一般会計補正予算（案）について

概要について説明を受けた。

以上で第 1 回経済建設常任委員会を終了した。

報告者 経済建設常任委員会 副委員長 清水 一夫

第2回経済建設常任委員会 概要報告

年 月 日	令和6年2月20日	会場	名寄商工会議所 会議室	案件	その他委員会所管事項について
出席委員	山崎 真由美、清水 一夫、東 千春、倉澤 宏、水間 健詞				
委員外議員					
欠席委員					

【報告事項】

（名寄商工会議所）

- 1）Yoroca の利用状況とポイント利用状況について報告を受けた。

【意見交換】

- 1）名寄商工会議所と所管事務調査について意見交換をした。

以上で第2回経済建設常任委員会を終了した。

報告者 経済建設常任委員会 副委員長 清水 一夫

第3回経済建設常任委員会 概要報告

年 月 日	令和6年2月21日	会場	第1委員会室	案件	委員会所管事項について
出席委員	山崎 真由美、清水 一夫、東 千春、倉澤 宏、水間 健詞				
委員外議員					
欠席委員					

〔報告事項〕

（経済部）

- 1) 名寄市農産物簡易加工施設利用団体の聞き取り状況について
各団体とも集約化についておおむね理解いただいたことと今後のスケジュールについて説明を受けた。
- 2) 交流事業について
杉並区、ふるさと会、リンゼイ、台湾それぞれの交流事業について報告を受けた。
- 3) 第1回定例会提案予定の議案について
 - ① 名寄市畜産センター条例を廃止する条例（案）について
概要について説明を受けた。
 - ② 令和5年度名寄市一般会計補正予算（案）について
概要について説明を受けた。
- 4) その他
 - ① ピヤシリスキー場の入込状況について
雪不足によりオープンが昨年より11日遅く、リフト搬送数が昨年に比し約4万5,000人減の25万6,000人（2月16日現在）である。スマートゲート導入により実数集計と安全安心なリフト運行が可能、シーズン券の購入者は昨年に比し31人増の1,026万3,000円で年々増加傾向、インバンドの来訪が最近目立つ、降雨・暖冬で早期のクローズが考えられると報告を受けた。
Q リフト券について、市内、市外、外国人の購入者は分かるのか。
A Webからの購入者は事前登録である程度データは取れる。券売機での購入者は厳しい。
 - ② ヒグマ対策について
ヒグマの春季管理捕獲の取組状況について、道内全体の取組に協調し、人里近くで生息しているヒグマの捕獲圧を強めた取組を予定している。時期は3月、4月を予定している。担い手は、地元猟友会と協議し、実施体制を構築する。

Q 雪解けが早いので、実施時期については。

A 実施時期について協議し検討していく。

(建設水道部)

1) 第1回定例会 建設水道部主な補正予算概要について
概要について説明を受けた。

2) 第1回定例会 上下水道室主な補正予算概要について
概要について説明を受けた。

3) 名寄市水道事業給水条例の一部改正について
概要について説明を受けた。

4) 専決処分した事件の報告について
概要について報告を受けた。

5) 令和5年度道路除排雪事業について
中間報告として、次のとおり報告を受けた。

① 苦情要望件数：107件 (R4:224件)

② 除雪回数：名寄地区郊外 24日 (R4:38日)、市街 20日 (R4:27日)
風連地区郊外 42日 (R4:56日)、市街 28日 (R4:35日)

③ 排雪回数：名寄地区幹線道路は、2回目を2月19日に完了
風連地区幹線道路は、2回目を1月13日に完了
名寄地区生活道路は、2月19日に完了
風連地区幹線道路は、1月22日に完了

6) 市営住宅の入居要件見直しについて
次のとおり説明を受けた。

① 連帯保証人要件の緩和

市長が特別の事情があると認める「その他連帯保証人の確保が困難な者」と要綱に加える。

② 単身可能住宅の拡充

60歳以上の単身の入居の問合せが増えているため、部屋数の少ない間取りを中心に単身入居可能な住宅を増やす。

③ 子育て世帯の入居希望者の優先

18歳未満の子供がいる世帯、39歳以下の夫婦世帯の抽選当選確率を上げる優遇措置を適用する。

Q 入居者の連帯保証人に、民間保証会社を使うことについては。

A 現状は、入居者に連帯保証人を探していただいている。

理由は、家賃の保証、見守り支援、緊急時の連絡

将来的には検討させていただく。

7) その他

第1回定例会最終日に1件の議案提出について予定していると報告を受けた。

以上で第3回経済建設常任委員会を終了した。

報告者 経済建設常任委員会 副委員長 清水 一夫

第4回経済建設常任委員会 概要報告

年 月 日	令和6年4月17日	会場	第1委員会室	案件	その他委員会所管事項について
出席委員	山崎 真由美、清水 一夫、東 千春、倉澤 宏、水間 健詞				
委員外議員					
欠席委員					

〔審議事項〕

1 令和6年2月20日に行った名寄商工会議所との懇談会の総括と委員会所管事務調査との関連について

(1) 名寄商工会議所との懇談会の主な内容は、次のとおり

ア 物流の拠点化

イ 物価高騰に対する対策

ウ 人手不足に対して

(2) 委員会所管事務調査は、次のとおり

ア テーマ

「基幹産業である農業に着目した産業振興」について

イ サブテーマ

「名寄市の特色を活かし、地域の課題解決を目指す農業施策の展開」について

(3) 上記について、委員間で討議し共通の認識を図った。

2 委員会の調査研究等について

(1) 令和6年度の先進地視察は、道内と決定した。

(2) 細部については、今回の討議を踏まえて次回以降の委員会で決定する。

3 その他

風連商工会との懇談会は、5月下旬に予定している。

以上で第4回経済建設常任委員会を終了した。

報告者 経済建設常任委員会 副委員長 清水 一夫

第 5 回経済建設常任委員会 概要報告

年 月 日	令和 6 年 5 月 2 8 日	会場	第 1 委員会室	案件	委員会所管事項について
出席委員	山崎 真由美、清水 一夫、東 千春、倉澤 宏、水間 健詞				
委員外議員					
欠席委員					

〔報告事項〕

（経済部）

1）令和 6 年度経済部・農業委員会事業概要について

ア 農業課所管主要事業について、次のとおり概要の説明を受けた。

（ア）地域おこし協力隊事業費 1 件（継続）

（イ）農業振興一般行政経費 2 件（継続）

（ウ）農業経営支援事業費 2 件（継続）

（エ）農業生産支援事業費 7 件の内、防衛施設周辺整備事業は新規・継続であり、農業生産単独支援事業は 12 件（継続）あり、ほかは継続事業である。

（オ）労働力確保対策事業費 2 件（継続）

（カ）農業担い手支援事業費 5 件（継続）

（キ）中山間地域等直接支払交付事業費 1 件（継続）

（ク）多面的機能支払交付事業費 1 件（継続）

（ケ）農地保有合理化促進事業費 1 件（継続）

（コ）農産物簡易加工処理施設管理運営事業費 2 件（継続）

（サ）名寄東部・西部集落センター管理事業費 1 件（継続）

（シ）農業振興センター維持管理事業費 4 件（継続）

（ス）畜産振興事業費 3 件の内、畜産振興単独支援事業の 7 件は継続であり、ほか 2 件は継続事業である。

（セ）牧場管理運営事業費 1 件（継続）

（ソ）畜産物処理加工施設管理運営事業費 1 件（継続）

（タ）畜産センター管理事業費 1 件（継続）

2）令和 6 年度名寄市農業振興センター事業計画について

水稲、春小麦、大豆、グリーンアスパラ、薬用作物、施肥比較、土壌診断、組織培養及びその他 4 件の目的・試験的内容等の説明を受けた。

3）令和 6 年度耕地林務課所管主要事業について、次のとおり概要の説明を受けた。

ア 農地整備費 3 件（継続）及び 1 件（完了）

イ 基幹水利施設管理事業費 1 件（継続）

ウ 林業振興費：林業振興事業費 3 件の内、森林環境譲与税活用事業の林業振興一般行政経費及び森林整備等振興事業は 7 件あり、6 件の継続と 1 件は新規である。

エ 林業振興費（有害鳥獣・ヒグマ等対策事業費） 1 件（継続）

オ 財産管理費 1 件（継続）

4）令和 6 年度経済部産業振興課事業（主なもの）について、次のとおり概要の説明を受けた。

ア 総務費

地域おこし協力隊事業費 1 件（継続）

イ 労働費

労政一般行政経費以下 6 件の内、人材育成確保事業の中で、若者地元定着奨学金返済支援事業助成金は新規であり、他は継続事業である。

ウ 商工費（商工業振興費）

中小企業振興条例事業以下 8 件（継続）

エ 商工費（観光費）

観光振興事業以下 5 件（継続）

オ 商工費（スキー場費）

ピヤシリスキー場管理運営事業以下 4 件（継続）

5）令和 6 年度農業委員会所管事業について、次のとおり概要の説明を受けた。

農地法等に基づく申請等の許可及び審査以下 7 件（継続）

6）名寄市農業委員会、委員の任命について説明を受けた

ア 農業委員定数：27 名

イ 任期（3 年間）令和 6 年 7 月 20 日～令和 9 年 7 月 19 日

7）令和 6 年第 2 回定例会提出名寄市一般会計補正予算（案）の概要説明を受けた。

8）その他

名寄市電子地域通貨 Yoroca とピヤシリスキー場の実績について説明を受けた。

〈質疑等〉

Q ツリーランコースの熊笹、木の枝の整備について伺う。

A 振興公社と協議し、検討する。

Q ピヤシリスキー場レストランの利用状況について伺う。

A レストラン売上げは、平成 30 年に比し約 1,000 万円の減である。

インバウンドの方が相当レストランを利用しているが、外国語表記ができていないなど、課題等を抱えている。営業会議で話をしている。

（建設水道部）

1）令和 6 年度建設水道部事業概要について、次のとおり説明を受けた。

建設工事発注予定事業

予定委託業務	42 件	1,231,545 千円
--------	------	--------------

予定工事	81 件	7,212,627 千円
------	------	--------------

合計	123 件	8,444,172 千円
----	-------	--------------

ア 令和 6 年度都市整備課予定業務の概要について、次のとおり説明を受けた。

（ア）業務委託 28 件

（イ）調査委託 1 件

(ウ) 設計委託	4 件
(エ) 電気	1 件
(オ) 土木	14 件
(カ) 舗装	7 件
(キ) 区画線	1 件

イ 令和 6 年度建築課予定業務の概要について、次のとおり説明を受けた。

(ア) 建築	8 件
(イ) 解体	4 件
(ウ) 電気	3 件
(エ) 機械	3 件
(オ) 防水	2 件

ウ 令和 6 年度上下水道室業務課予定業務の概要について、次のとおり説明を受けた。

(ア) 通信・管工事	1 件
------------	-----

エ 令和 6 年度上下水道室工務課予定業務（上水道）の概要について、次のとおり説明を受けた。

(ア) 設計委託	1 件
----------	-----

オ 令和 6 年度上下水道室工務課予定工事（上水道）の概要について、次のとおり説明を受けた。

(ア) 管工事	5 件
(イ) 水道施設	9 件

カ 令和 6 年度上下水道室工務課予定業務（下水道）の概要について、次のとおり説明を受けた。

(ア) 調査委託	2 件
(イ) 設計委託	1 件

キ 令和 6 年度上下水道室工務課予定工事（下水道）の概要について、次のとおり説明を受けた。

(ア) 管工事	6 件
(イ) 土木	1 件
(ウ) 浄化槽	1 件

ク 令和 6 年度上下水道室浄水場予定工事の概要について、次のとおり説明を受けた。

(ア) さく井工	1 件
(イ) 電気	1 件
(ウ) 水道施設	3 件

ケ 令和 6 年度上下水道室下水処理場予定業務の概要について、次のとおり説明を受けた。

(ア) 設計委託	2 件
(イ) 調査委託	1 件

コ 令和 6 年度上下水道室下水処理場予定工事の概要について、次のとおり説明を受けた。

(ア) 電気	2 件
(イ) 土木	1 件

サ 令和 6 年度繰越明許費事業（建設水道部関係）の概要について、次のとおり説明を受けた。

(ア) 土木	3 件
(イ) 建築	1 件
(ウ) 電気	1 件
(エ) 機械	1 件
(オ) 解体	1 件

〈質疑等〉

Q 資材の高騰、労務単価の影響を伺う。

A 労務単価については、積算の内容に反映している。建築工事は、設計内容を精査していただくことになろうかと思う。

Q 基本、当初予算で事業の発注・入札・契約は、これで進んでいくことでよいか。

A 委員の発言のとおり、進んでいく。

Q 道路情報管理GISシステム構築ができた後、現場でどのように使われるのか伺う。

A 紙の道路台帳をデジタル管理し、デジタル化で提供ややり取りできる。

Q デジタル化の色々な整備（芝刈り、除雪など）業務の関係を伺う。

A 道路の現状補修等は関わってこない。除雪はデジタル化に対応している。

Q スマートメーター事業で、設置エリアとメリットを伺う。

A 設置エリアは、風連地区と智恵文地区。メリットは、ダイレクトにその日に情報が得られる。漏水が起こった場合には、住民の問い合わせに対し、すぐ対応できる。

Q 検針の現状とスマートメーターで安否確認の可能性について伺う。

A 検針は9名体制で、すでに1人いない状態。募集しても集まらない。負担大。

スマートメーターで安否確認は、電気のほうが強い。様々な視点で活用できるように考えたい。

Q スマートメーター回線は、他のインフラと一緒に相乗りできる回線はないのか。

A 業者に示していただいていないのが現状。

Q 最終処分場の閉鎖工事は広域ではないのか。

A 2期目につくった最終処分場で、市の所有物である。

2) 財産の取得（小型ロータリー1台）について、説明を受けた。

3) 名寄市街路灯LED化工事請負契約の締結について、説明を受けた。

4) 名寄市手数料徴収条例の一部改正について、説明を受けた。

5) 水道事業に係る債権（水道料金）の放棄について、説明を受けた。

6) 令和5年度除排雪事業（令和6年3月31日現在）について、説明を受けた。

ア 累積降雪量：511 cm（R4より24 cm減）

- イ 苦情件数：151 件（R4 より 193 件減）
- ウ 除雪出動（R5. 11. 1～R6. 3. 31）
- エ 幹線道路排雪
 - 名寄地区 幹線道路：8,740 台（R4 より 4,020 台減）
交差点：741 台（R4 より 116 台増）
 - 風連地区 幹線道路：1,300 台（R4 より 756 台減）
交差点：48 台（R4 より 27 台増）

- オ 生活道路排雪
 - （ア）名寄地区：9,825 台（R4 より 5,648 台減）
 - （イ）風連地区：1,820 台（R4 より 1,642 台減）

- カ 排雪ダンプ助成事業
 - （ア）一般住宅（R5. 12. 1～R6. 3. 10）
 - a 申請件数：864 件（R4 より 546 件減）
 - b 台数：2,342 台（R4 より 1,770 台減）
 - （イ）店舗併用住宅
 - a 申請件数：39 件（R4 より 27 件減）
 - b 台数：180 台（R4 より 93 台減）
 - （ウ）町内会
 - a 申請件数：4 件（R4 は 0 件）
 - b 台数：23 台（R4 は 0 台）

〈質疑等〉

Q 排雪で 2 条通りと 3 条通りの違いを伺う。

A 2 条通りと 3 条通りの違いは、2 条通りは幹線道路扱いで排雪回数は生活道路より多い。
3 条通りはまちなかであるが、生活道路で年 1 回の排雪。その交差点排雪は別のカテゴリーで排雪している。

7) 令和 5 年度第 2 回名寄市上下水道事業経営審議会経過について、報告を受けた。

8) その他

ア 経済建設常任委員会の視察先（候補地）等について、委員間で協議した。

イ 風連商工会との懇談会について、日程調整を行う旨確認した。

以上で第 5 回経済建設常任委員会を終了した。

報告者 経済建設常任委員会 副委員長 清水 一夫

第6回経済建設常任委員会 概要報告

年 月 日	令和6年7月1日	会場	ふうれん地域交流センター	案件	その他委員会所管事項について
出席委員	山崎 真由美、清水 一夫、東 千春、倉澤 宏、水間 健詞				
委員外議員					
欠席委員					

【意見交換】

1) 風連商工会と所管事務調査について意見交換をした。

以上で第6回経済建設常任委員会を終了した。

報告者 経済建設常任委員会 副委員長 清水 一夫

第7回経済建設常任委員会 概要報告

年 月 日	令和6年8月22日	会場	第1委員会室	案件	委員会所管事項について
出席委員	山崎 真由美、清水 一夫、東 千春、倉澤 宏、水間 健詞				
委員外議員					
欠席委員					

〔報告事項〕

（経済部）

1）主要農産物生育状況について

アスパラガスの出荷量は、昨年比約3割減の205t、ほかは平年並みに推移していると報告を受けた。

2）地域計画の進捗状況について

令和7年3月策定に向け作業を進めている。8月15日時点で地域協議会を29地区中21地区開催済みと報告を受けた。

Q 純農村地域以外（例：大橋地区、徳田地区、緑丘地区）の対応は。

A 合同開催及び少人数でも集まっていたき、職員が出向き対応している。

3）人材確保・育成に関する協議会の設立について

① 令和6年7月26日に、様々な分野の代表者が参集、「人材確保対策会議」を開催、オール名寄で人材確保・育成に関する協議会設立の報告を受けた。

② 令和6年度のスケジュール（予定）

8月中旬 労働実態調査（業者向け）

8月下旬 中高大生向けアンケート

9月～ 調査・アンケート集計・分析

10月 第2回対策協議会開催

調査・アンケート分析、情報共有、意見交換、勉強会等

Q 最終的にどういうところまで、会の中で取組んでいかれるのか。

A データ分析しながら、どこまでやれるか、やれることから始めていこうと今考えている。

4）第3回定例会提案予定の議案について

令和6年度名寄市一般会計補正（案）について次のとおり、説明を受けた。

- ① 農地利用効率化等支援事業
- ② 持続的畑作生産体制確立緊急支援事業
 - ・ てん菜から需要の高い作付け等への転換
 - ・ 健全な種子の安定供給対策（種ばれいしょ）
 - ・ 労働負担軽減対策（省力作業機械の導入）
- ③ アウトドア観光プロモーション業務

（建設水道部）

令和6年度の事業進捗状況について、次のとおり口頭報告を受けた。

- ① 都市警備課：発注率 80%、完工率 13%
- ② 建築課：発注率 57%、完工率 4 %
- ③ 上下水道：発注率 92%、完工率 5%

建設水道部全体：124 件中 100 件契約済 81%、完工率 10 件 8 %
81%発注率は例年どおり（過去 5 年間の平均発注率 80%）

1）第3回定例会 建設水道部主な補正予算概要について

次のとおり説明を受けた。

除排雪業務に係る補正について

- ① 労務費の増額と令和5年度の除雪実績を踏まえ、市道除雪業務委託料について増額補正
- ② 除排雪システム委託料、システム改修にかかる経費について増額補正

2）道路管理における損害賠償請求訴訟の報告について

概 要

- ① 事故日時 令和3年9月9日
- ② 概要：市道中名寄川向線を走行中、自宅から 300m程度手前の道路の穴ぼこによって自家用乗用車の左前のホイールを損傷。
- ③ 損害の範囲及び過失割合の折り合いがつかず、訴訟に発展

訴訟経過

令和5年4月17日 訴訟に発展

令和5年12月11日 裁判所から和解案の提示

令和5年12月25日 市側 和解案を拒否 訴訟

令和6年5月9日 証人尋問

令和6年6月6日 判決原告（相手方）の請求を棄却

令和6年6月21日 原告から控訴申し立てがなかったから結審する。（市側の勝訴）
上記について報告を受けた。

3）7月23日発生大雨災害状況について

次のとおり報告を受けた

- ① 河川の河岸崩落2か所（風連地区）

- ② 道路の路肩崩落 1 か所（風連地区）
- ③ 道路の路面洗掘 4 か所（風連地区）
- ④ ポンプ所稼働：3 か所

4) 上水道・下水道の料金水準の見直しについて

経営審議委員会資料をもって、次のとおり説明を受けた。

① 上水道

令和 9 年以降、収支が逆転する。

令和 10 年から現金保有がなくなり、料金 10% 増の場合は、令和 16 年から現金がなくなる見込み。20% 増の場合は、現在の 4 億円を確保できる見込み。

② 下水道

流動資産（現金）は令和 18 年で 14 億円近くなるものと見込む。現行使用料で当面の経営は維持できる。今後、新規事業・改修事業が想定され、再び経営状況を見直す必要あり。

Q 水道事業（自衛隊に給水）使用量 600 t、収益増 6,000 万円について伺う。

A 使用量 600 t は 1 日の使用量、収益増 6,000 万円は年間の収益

Q 下水道で 14 億円を持つ必要はないのでは。料金は現段階でどのような考えなのか伺う。

A 今後の考えられる新規事業は、どのくらいなるのか。ある程度現金を保有したい。今後、見直しさせていただきたいことを話していこうと思う。

5) 水道スマートメーター化事業・水道ポータルサイト導入事業について

次のとおり報告を受けた。

水道スマートメーター化事業について

- ① 設置数：風連地区（約 1,420 戸）、智恵文・名寄郊外地区（約 260 戸）
その他難検針箇所等（約 70 戸）
- ② 導入スケジュール（予定）
智恵文・名寄郊外・風連郊外：令和 6 年 9 月中旬から 10 月まで
風連市街地・その他難検針箇所等：令和 6 年 11 月から

水道ポータルサイト導入事業について

インターネットを利用したサービスの導入

- ① 導入スケジュール（予定）
HP や広報等で周知：令和 7 年 1 月から
運用開始：令和 7 年 2 月下旬から

7) その他（現地視察）

可搬型ハンプの試験設置（市道 13 丁目通り（16 線）の「みなみっこ橋付近」、熱センサーカメラ（名寄日進）、RV PARK（サンピラー温泉駐車場）を現地視察した。

以上で第 7 回経済建設常任委員会を終了した。

報告者 経済建設常任委員会 副委員長 清水 一夫

第 8 回経済建設常任委員会 概要報告

年 月 日	令和6年 11 月 15 日	会場	第 1 委員会室	案件	委員会所管事項について
出席委員	山崎 真由美 、 清水 一夫 、 東 千春 、 倉澤 宏 、 水間 健詞				
委員外議員	川村 幸栄				
欠席委員					

〔報告事項〕

（経済部）

ピヤシリスキー場に関することについて、次のとおり口頭報告を受けた。

① ピヤシリスキー場リフト券等は、11 月 1 日から販売開始

② 安全祈願祭は、12 月 5 日に執り行う。

1）名寄市ピヤシリスキー場条例の改正について

次のとおり説明を受けた。

宿泊利用料金（1 人/1 日）を 8,000 円から 11,000 円に改正する。

理由：市内宿泊施設との平準化と指定管理者の経営基盤強化のため。

2）人材確保にかかる協議会の取組について

中高生就業意識調査及び労働実態調査（市内事業社）と「仮 名寄市人材確保に係る協議会」の取組案について報告を受けた。

3）令和6年産農産物出荷状況について

次のとおり報告を受けた。

① うるち米：5.9 俵/反（前年比 100%）

② もち米：11.1 俵/反（前年比 112%）

③ 畑作（特に）

- ・ G アスパラ（露地）：（前年比 76%（苦戦））
- ・ 加エスイートコーン：（前年比 161%）
- ・ 他作物：概ね良好

4）令和6年度名寄市一般会計補正予算（案）について

令和6年度 第4回定例会提出の補正予算（第7号）（案）について次のとおり、説明を受けた。

① 土地改良区決済金等支援事業

② 商業指導育成対策事業費（Yoroca のチャージ機移設）

③ 企業立地推進事業費（補助金交付予定2社が操業変更に伴い減額補正）

- ④ 道の駅管理運営事業費（屋上防水改修工事に係る入札減）
- ⑤ ピヤシリスキー場整備事業費（圧雪車整備料不足補正）

5) その他

次のとおり口頭報告を受けた。

- ① 道の駅の物販営業時間、1時間繰り上げ（11月1日～3月31日まで17時とする。）
理由：冬期間、極端にお客さんが少ないため。
- ② なよろ温泉サンピラーレストラン「アカゲラ」休業（12月2日～4月1日まで）
理由：スキー場開場に伴い、その対応の調理人がいないため。

（建設水道部）

1) 令和6年度 第2・3回名寄市上下水道事業経営審議会経過報告について

次のとおり報告を受けた。

- ① 名寄市上下水道事業の経営状況（適切な水道料金の在り方）について
 - ・ 令和10年で流動資産が消失し、20%程度の収入増の必要性を説明
 - ・ 料金改定・検針サイクル統一についての必要性を確認（令和7年中）
 - ・ 基本水量の変更（全て5t化（13mm（一般家庭）20mm・25mm（3階以上の事業所等））
20mm・25mmの料金収入で合計8,000万円の収入増
 - ・ 事後、審議委員会の正・副委員長と協議をまとめ、若干の修正あり。
 - ・ 今後のスケジュール
議会第4回定例会に提案
令和7年3月 議会第1回定例会で議決（12月で常任委員会付託の場合）
市民説明会
令和7年9月から料金改定（10月請求分）、検針サイクルの統一

Q 市民は物価高騰の中で、今後のスケジュールを検討できないか。
士別市では延期された。

A 運用する現金がなくなっている。安心安全の水道事業運営には、令和7年9月から料金改定（10月請求分）したい。

Q 国への声を上げる取組は。

A 国への要望は水道協会が独立採算制であり料金で運営していくので、10年後を見据えた上でやっていく。

② 名寄市下水終末処理場におけるし尿及び浄化槽汚泥との共同処理について

次のとおり報告があった。

- ・ 「衛生センター」供用開始から45年経過。老朽化により損傷が著しく、施設の再構築に向けて次期処理方式の検討が進められ、名寄市下水終末処理場で下水汚泥とし尿等を共同で処理する方式が最適と判断された。
- ・ 令和6年9月11日に近隣事業者説明会、9月13日に町内会（大橋区、大橋商工団

地）説明会を行った。

- ・ 風連浄水管理センター（風連処理区の下水処理場）との共同処理を検討
結論：共同処理方式（汚泥のみ）が経済的であり効率的な運転ができる。
- ・ 共同処理イメージ：名寄下水終末処理場にバキュームカーで搬入（6台/日）
- ・ 事業概要：事業期間は令和7年度～令和14年度
供用開始年度（予定）は令和12年4月
事業内容は受入施設・予備貯留槽・場内道路・衛生センター解体
概算事業費は約23億円（令和6年度算出）
- ・ スケジュール：令和6年度は事業協定締結
令和7年度は下水道事業計画変更
令和8年度は基本設計
令和9年度は実施設計
令和10年度～令和11年は建設工事
令和12年度は供用開始・衛生センター解体工事実施計画
令和13年度～令和14年度は衛生センター解体工事

Q 地域説明会で反対意見はなかったか。

A 反対意見はなかった。令和8年度の基本設計で再度住民に説明する。
説明会ではルールづくり及び関係車両等が通る道路整備を示す。

2）令和6年度 道路除排雪実施計画について

次のとおり報告を受けた。

- ① 除排雪出動基準 ② 除排雪延長 ③ 雪堆積場概要 ④ 業種別概要 ⑤ 手法の概要
⑥ 各種助成等 ⑦ 令和6年度 of 取組

道路除排雪実施計画は昨年度と同じであり変更事項はなかった。

（その他）

11月25日（月）16時から「よろーな」で、名寄商工会議所との意見交換を行う。

以上で第8回経済建設常任委員会を終了した。

報告者 経済建設常任委員会 副委員長 清水 一夫

第9回経済建設常任委員会 概要報告

年 月 日	令和6年11月25日	会場	名寄商工会議所 会議室	案件	その他委員会所管事項について
出席委員	山崎 真由美 、 清水 一夫 、 東 千春 、 倉澤 宏 、 水間 健詞				
委員外議員					
欠席委員					

【意見交換】

1) 名寄商工会議所と所管事務調査について意見交換をした。

以上で第9回経済建設常任委員会を終了した。

報告者 経済建設常任委員会 副委員長 清水 一夫

第 10 回経済建設常任委員会 概要報告

年 月 日	令和 6 年 12 月 16 日	会場	第 1 委員会室	案件	委員会所管事項について
出席委員	山崎 真由美、清水 一夫、東 千春、倉澤 宏、水間 健詞				
委員外議員	川村 幸栄				
欠席委員					

〔報告事項〕

令和 6 年第 4 回定例会議案第 4 号「ピヤシリスキー場条例一部改正について」及び議案第 25 号「名寄市水道事業給水条例の一部改正について」委員会付託議案を審議（経済部）

議案第 4 号「ピヤシリスキー場条例一部改正について」

改定理由について次の通り報告を受けた。

① 近年の人件費や物価高騰に対応した宿泊料金見直し

条例第 13 条 宿泊利用料金のうち宿泊料金 8,000 円から 11,000 円に改正（素泊まり一人当たり料金の上限とし、上限の範囲内で時期に応じた料金を設定）

市内宿泊施設の平準化（6 ホテルの平均 10,583 円≒11,000 円）

② 指定管理者の経営基盤の安定化と強化

1 Q 改定経緯について伺う。

1 A 担当課と指定管理者の協議である。

2 Q 参考とした市内宿泊施設が、令和 4 年の改正では 4 施設、今回は 6 施設でありその理由を伺う。

2 A 正確な利用料金及びなるべく細かく調査した。

3 Q 公の施設の使用料金に関する設定基準の公費負担、受益者負担の関係性について伺う。

3 A 除外施設である。

4 Q 料金設定について、ホテル B が突出しているが、その説明を伺う。

4 A 数年先、物価高騰しても対応できるだろうとのことで今回あえて入れた。

5 Q 除外施設について、もう一度説明を伺う。

5 A その他別に定めるものに該当するとの認識である。

次回、資料を含めて整理説明する。

- 6 Q 料金設定の戦略的、近隣の情報及び公社のアドバイザー的な方のアドバイスなどの経緯を伺う。
- 6 A 近隣も調査している。公社の公認会計士から意見を頂いている。具体的に損益分岐点を研究しながら料金設定を指定管理者と一緒にやっていく。
- 7 Q 上限について近隣の情報を伺う。
- 7 A 宿泊については、今後、値上げとなっていく状況にあり、スキー場料金は、道内値上げしている。情報を踏まえ研究検討していかないとならない。
- 8 Q 将来的見込みについて、投資も含めて説明を伺う。
- 8 A 次回、繁忙期、閑散期の営業カレンダーを踏まえて値段基準をある程度上げた価格でシミュレーションを提示する。
- 9 Q 経営基盤強化に突出した取組について伺う。
- 9 A インバンド（日帰りでピヤシリスキー場を利用）対策として、観光協会、公社と三者で協議をしている。

（建設水道部）

議案第25号「名寄市水道事業給水条例の一部改正について」

改定理由について次の通り報告を受けた。

今年、経営審議会でも5回の審議を行い、11月28日答申を受けた。

答申内容

- ① 料金水準（概ね2割以内）
- ② 基本水量の設定（一律の設定が適当）
- ③ 算定期間と改定時期（R7年度～11年度、R7年度中に実施）

付帯意見

- ① 改定案の検討結果
- ② 検針サイクルの統一
- ③ 端数処理の取り扱いなど

1 Q 料金を上げる過程で、取り組みの特徴的ものを伺う。

1 A 今後の工事費を精査した。

2 Q 基本水量を5tにされたが、他の自治体もこの基準か伺う。

2 A 10tの所が多いという印象を持っている。

3 Q 端数処理は1円未満である。収入増は、大体どのくらいか伺う。

3 A 30万～100万円

４Ｑ 審議会での主な意見で生活弱者対策や負担緩和などの検討について伺う。

４Ａ 原則は受益者負担（料金をいただいて事業運営を行っている。）、検討したが、複数年も難しかった。

５Ｑ 今回の改定に合わせて使用量を残した部分と 20 ミリ・25 ミリについて基本料金が変わらぬ世帯は何世帯か伺う。

５Ａ 次回、担当課の方でまとめて報告をする。

以上で第１０回経済建設常任委員会を終了した。

報告者 経済建設常任委員会 副委員長 清水 一夫